

# 風物詩

## 自然と歴史にあふれるまちで「時の流れ」を感じて

羽曳野市は、金剛、葛城山系と和泉山脈に囲まれた大阪平野の南部にあり、古市古墳群をはじめとする歴史的資源が数多く残った、自然と歴史にあふれるまちです。

これら本市の特徴である美しい自然や歴史・文化を後世に継承していくことを大切にしながら、郷土愛を醸成する行事が四季を通して行われています。

### 春

市内中央部を流れる石川の堤防には、750m、約150本の桜並木があり、毎年、桜の時期になると訪れる人を楽しませてくれます。

5月、応神天皇を主祭神とする誉田八幡宮で行われる夏祭（藤まつり）では、舞楽、神楽、包丁式、武道などが奉納されます。誉田八幡宮は、第29代欽明天皇の命で応神陵の前に設けられた日本最古といわれる八幡宮です。

### 夏

本市では、ぶどう（デラウェア種）やいちじくが盛んに栽培されています。特にぶどうは、府内最大の産地であり、ぶどう畑に広がる波打ちながら続く



ぶどう畑

白いビニールハウスの光景は、大変見事なものです。

7月、大津神社では茅と藁を束ねて作った輪



大津神社 夏越しの祭り

をくぐり、罪やけがれをはらい、病を除くことを祈願する夏越しの祭りが行われます。茅に災いを除く呪力があるという信仰は、奈良時代に書かれた備後の国の「風土記」にある、蘇民将来の物語の中での「茅の輪を腰に着けた人は病気から免れる」という一節にも見ることができます。

### 秋

大阪府環境農林水産総合研究所食とみどり技術センターの入り口から続く300mのイチヨウ並木は、大阪みどりの百選にも選ばれており、黄葉の時期にはイチヨウが黄金色に染めあがります。



誉田八幡宮 秋祭り（渡御）

9月から10月にかけて、市内各地では秋祭りが開催され、町内をだんじりが練り歩きます。誉田八幡宮の秋祭りでは、国宝である源頼朝寄進の塵地螺鈿金銅装神輿が応神陵へ渡御する儀式が行われます。

### 冬

1月、誉田八幡宮や大津神社などでは、商売繁盛を願って戎まつりが開催され、威勢の良い声が響き渡り大勢の人で賑わいます。

是非、悠久の地「羽曳野」を訪れて、美しい自然と歴史を体験し、「時の流れ」を感じてください。

### ● お問い合わせ先 ●

羽曳野市市長公室政策推進課

TEL：072-958-1111（内線3512）

FAX：072-958-0212

E-mail：kikaku@city.habikino.osaka.jp